

The logo consists of the word "GLORY" in white, uppercase, sans-serif font, centered within a solid dark blue square.

GLORY

第 69 回 定時株主総会

The 69th Ordinary General Meeting of Shareholders

平成27年6月26日

グローリー株式会社

報告事項

第69期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

- 事業報告
- 連結計算書類
- 計算書類（単体）

 **招集ご通知」19～43頁**

1 企業集団の現況に関する事項

当連結会計年度における わが国の経済

- 消費税率引上げ影響の長期化により
個人消費に弱さ
- 企業収益、雇用情勢は改善傾向

緩やかな回復基調



1 企業集団の現況に関する事項

当連結会計年度における 世界経済

- 米国は回復傾向を持続
- 欧州も緩やかながら回復の動きが継続
- 中国等の新興国では減速傾向

全体としては不透明な状況で推移



1

企業集団の現況に関する事項

2014中期経営計画（平成24年度～平成26年度）



基本方針

長期ビジョン達成に向けた
成長戦略推進と収益力強化

基本戦略

事業戦略

機能戦略

企業戦略

1

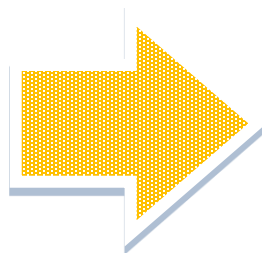
企業集団の現況に関する事項



海外事業



タラリス社買収の シナジー最大化



- 販売・保守体制の整備
- 市場の特性に応じた
地域別戦略を推進

1

企業集団の現況に関する事項



国内事業

- 新型「オープン出納システム」等新製品の市場投入
- 当社製品の未導入市場を開拓

収益の拡大を推進



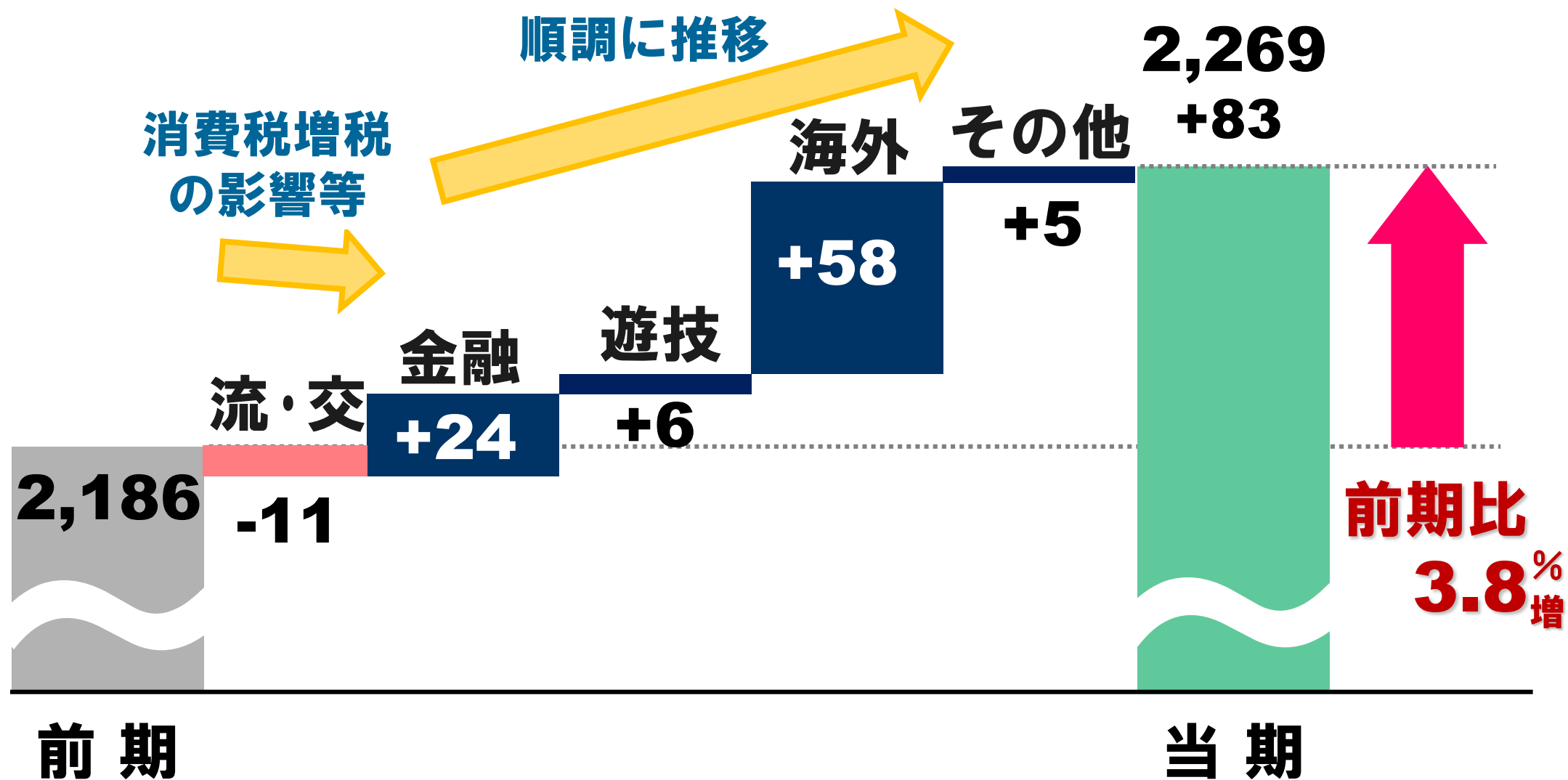
機能戦略

- 技術のプラットフォーム化による開発効率の向上
- 海外生産体制の再編

企業体質の強化にも注力

1 企業集団の現況に関する事項

(単位：億円)



1 企業集団の現況に関する事項

■ 保守売上高

645億69百万円

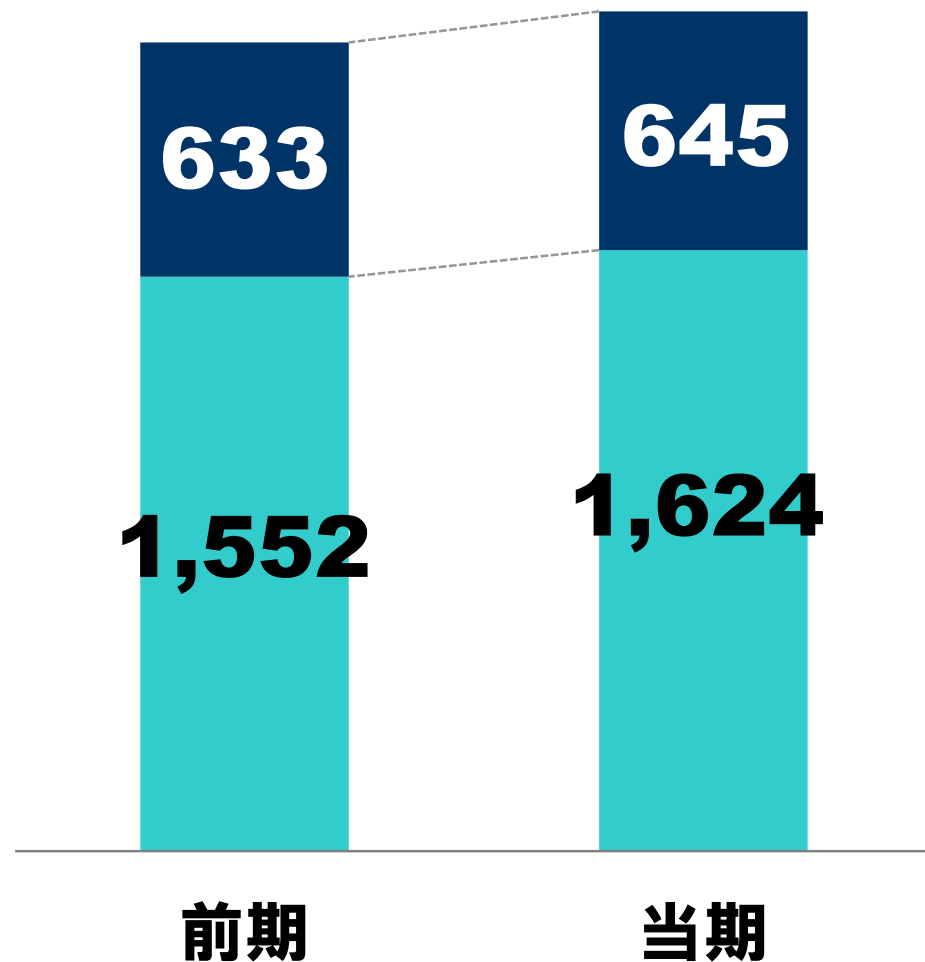
前期比 1.9%増

■ 製品・商品売上高

1,624億 5百万円

前期比 4.6%増

(億円)

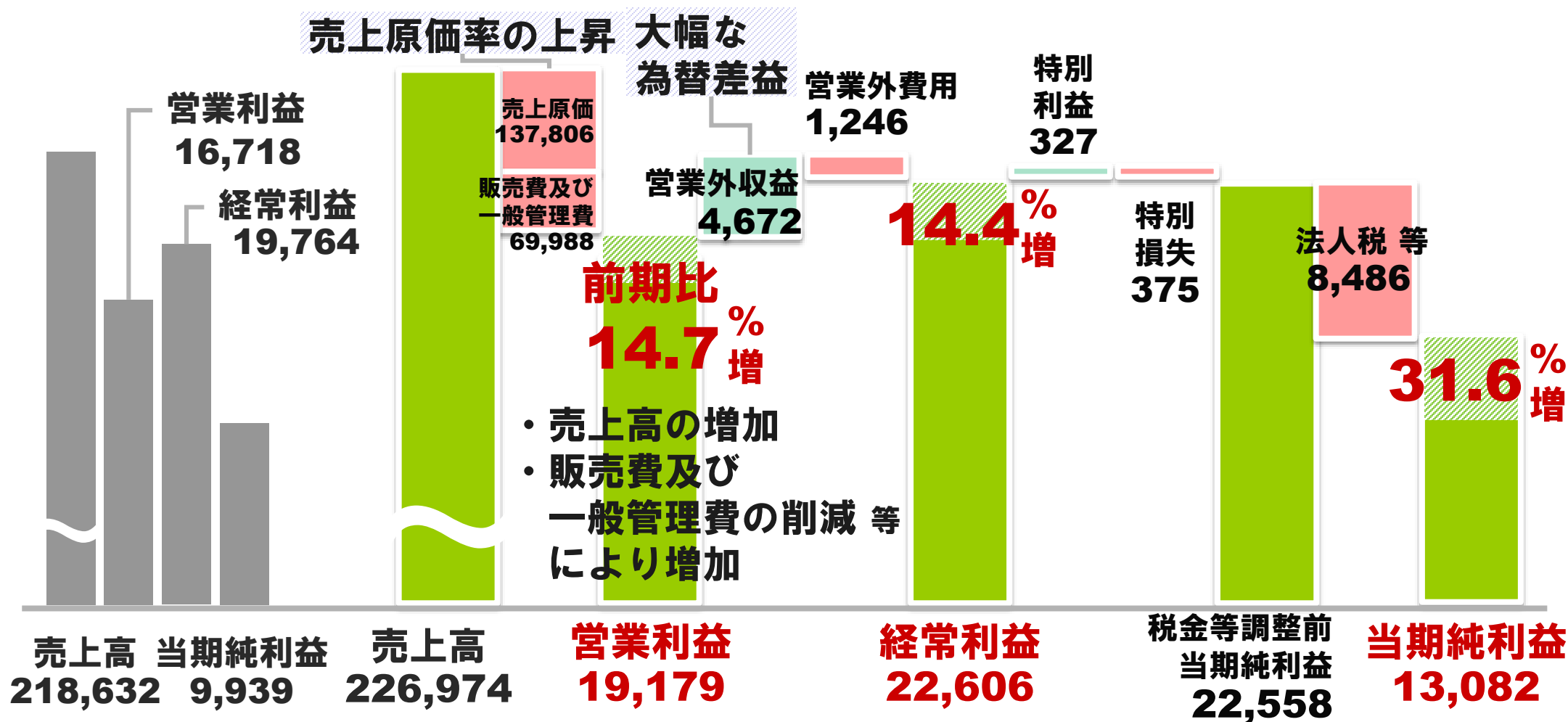


連結損益計算書

前 期

当 期

(百万円)



連結貸借対照表

(百万円)

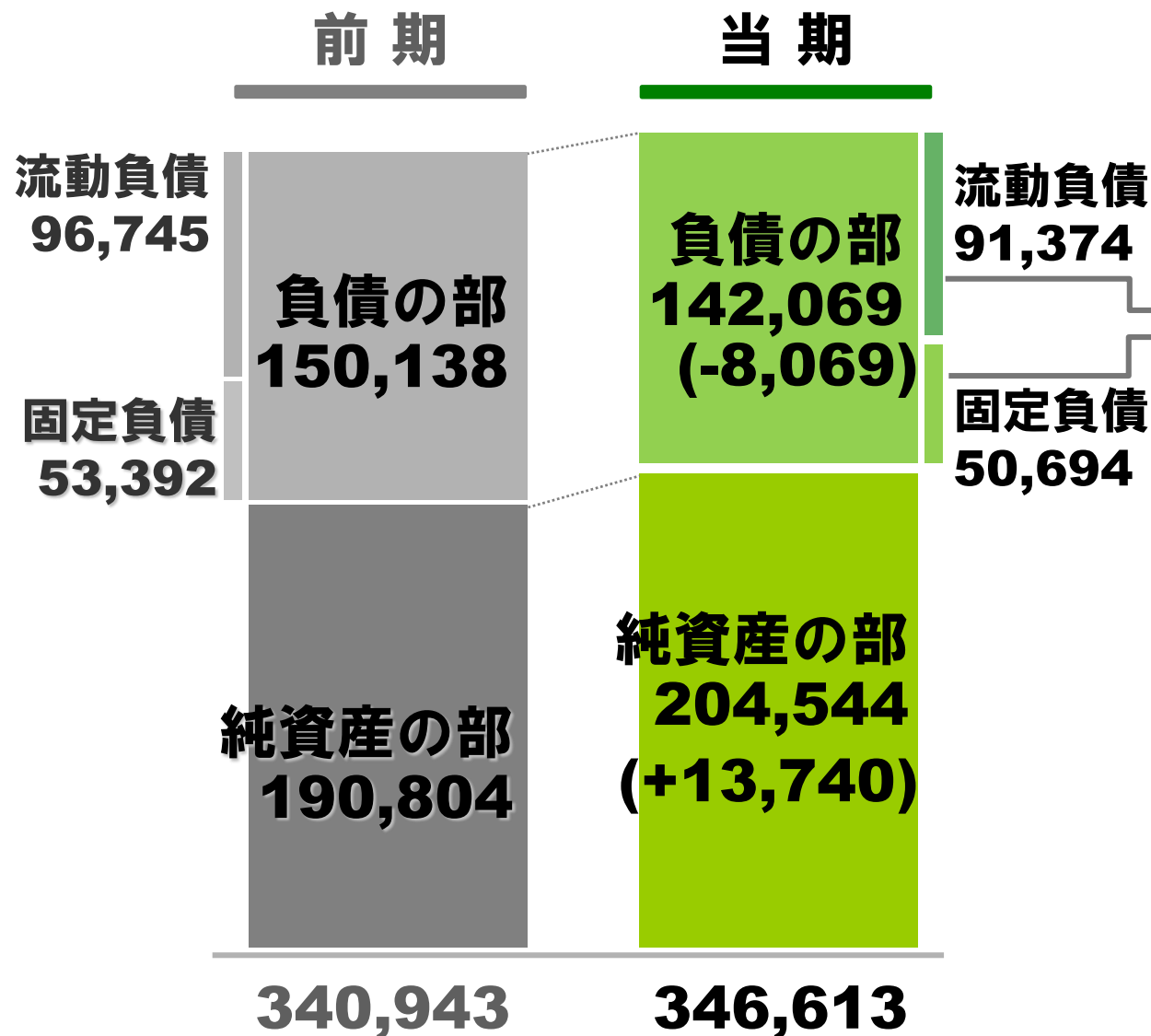
前 期	当 期
資産の部	
流動資産 165,295	流動資産 174,654 (+9,359)
固定資産 175,648	固定資産 171,958 (-3,690)
340,943	346,613 (+5,670)

「受取手形及び売掛金」
が大きく増加

タラリス社買収による
「のれん」等を含む
「無形固定資産」が減少

連結貸借対照表

(百万円)



タラリス社の
買収に係る
借入金を返済
($\Delta 10,783$)

(単体) 貸借対照表

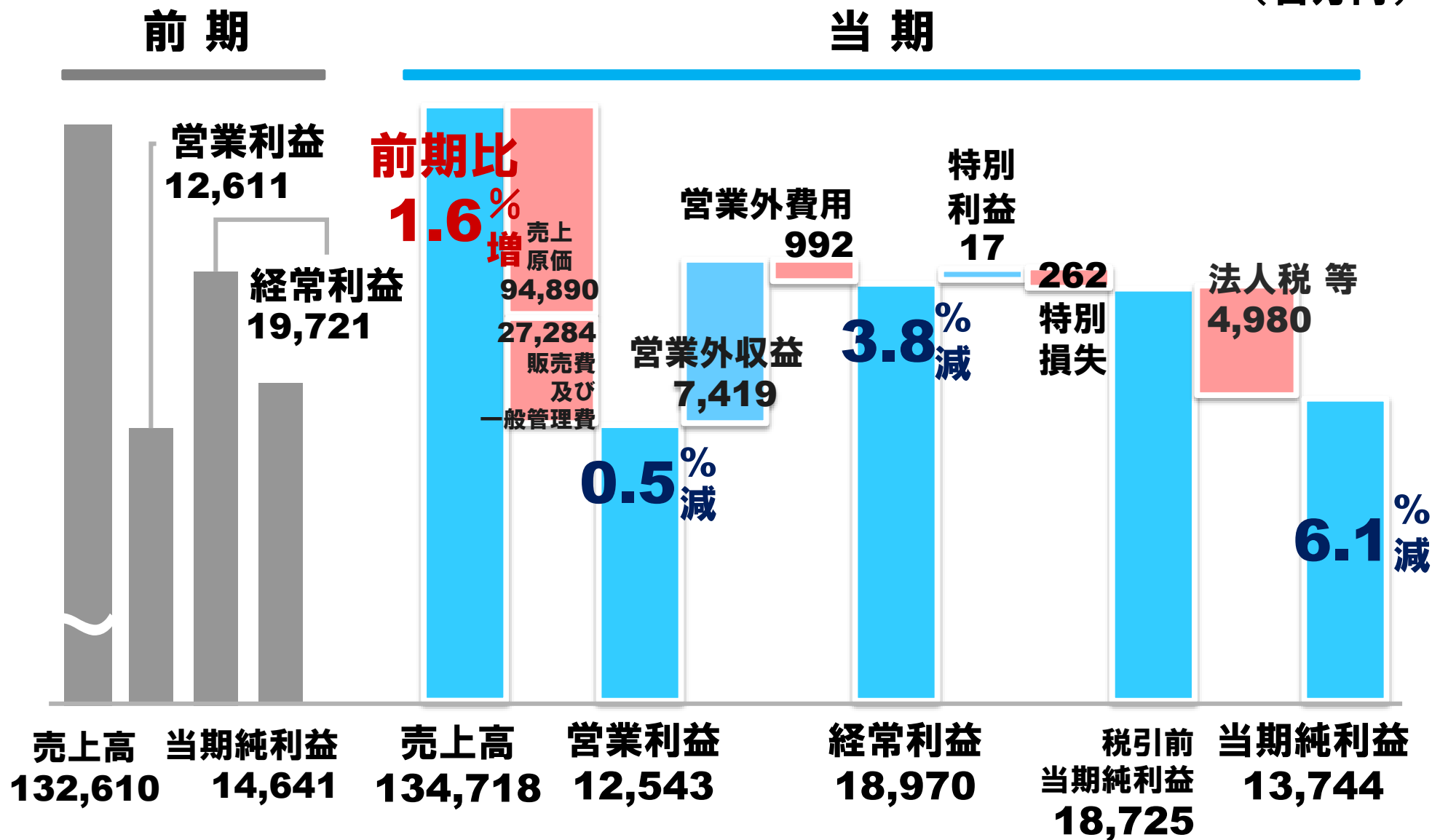
(百万円)

前 期	当 期
資産の部 259,125	資産の部 258,341
流動資産 106,949	流動資産 114,012 (+7,063)
固定資産 152,176	固定資産 144,328 (-7,848)

前 期	当 期
負債純資産合計 259,125	負債純資産合計 258,341
流動負債 63,251	流動負債 55,820
固定負債 37,718	固定負債 33,899
負債の部 100,969	負債の部 89,720 (-11,249)
純資産の部 158,155	純資産の部 168,620 (+10,465)

(単体) 損益計算書

(百万円)



連結株主資本等変動計算書 (単体) 株主資本等変動計算書



「招集ご通知」40・43頁

連結注記表、個別注記表

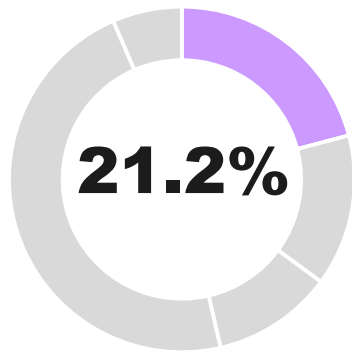


当社ウェブサイトに掲載
(法令・当社定款第17条に基づくインターネット開示)

セグメント別の概況



「招集ご通知」21～23頁



オープン出納システム
＜WAVE Pro シリーズ＞



主要製品「オープン出納システム」

- 新製品を含む標準タイプ、コンパクトタイプとも 順調

＜WAVE Cシリーズ＞



紙幣両替機
＜EN-700＞

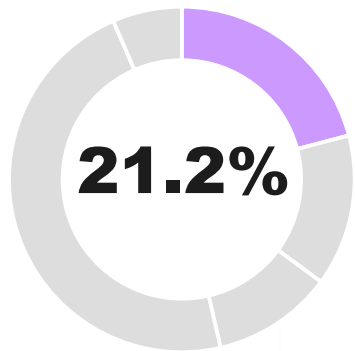
「多能式 紙幣両替機」

更新需要を捉え、好調

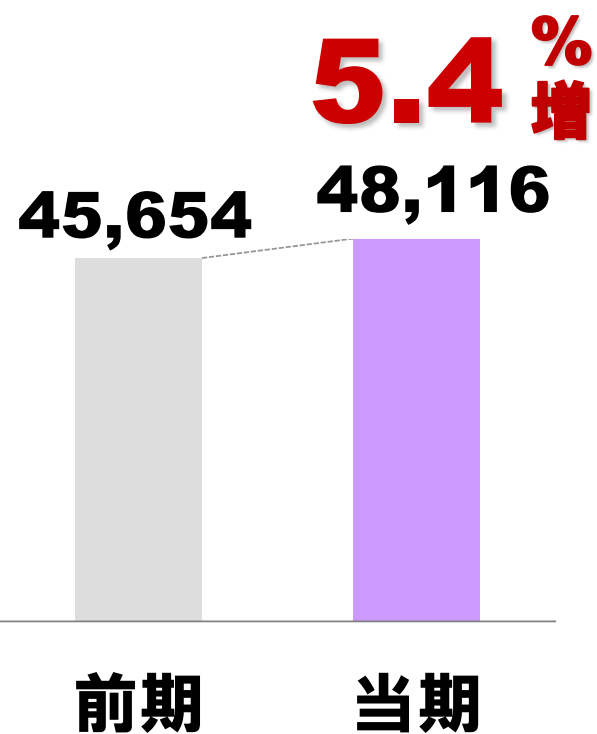
国内

金融
市場

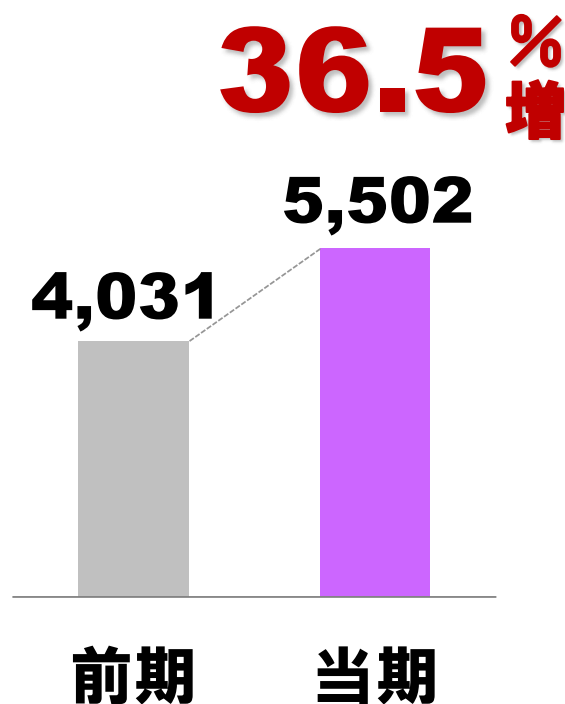
21頁

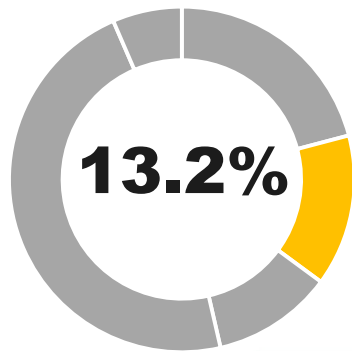


売上高



営業利益 (百万円)





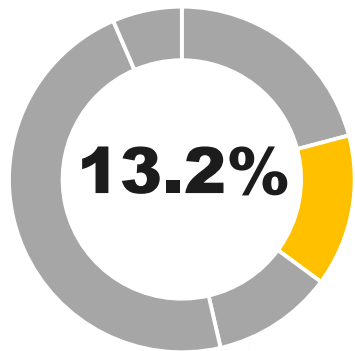
- 警備輸送市場向け
「店舗入出金機」 好調

- 主要製品「レジつり銭機」
低調

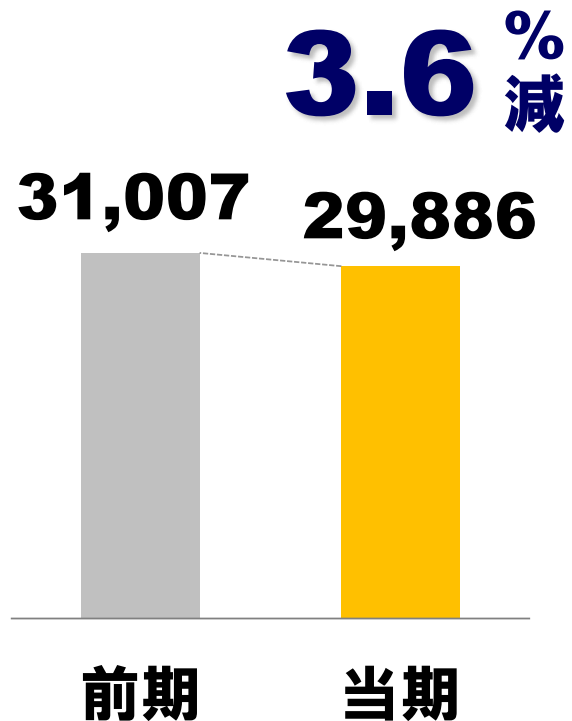


硬貨/紙幣レジつり銭機
〈RT-300/RAD-300〉

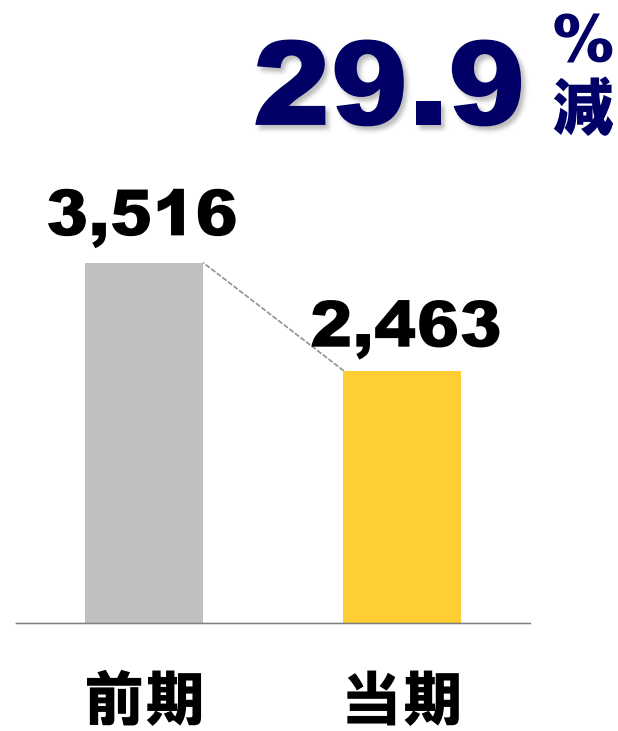
市場全体としては前期並み

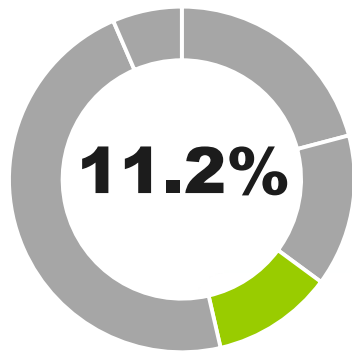


売上高



営業利益 (百万円)





- 「会員管理システム」
- 「賞品保管機」



賞品保管機

ホール新規出店数の減少等により
低調

- 主要製品「カードシステム」等

好調



管理ターミナル



カード精算機

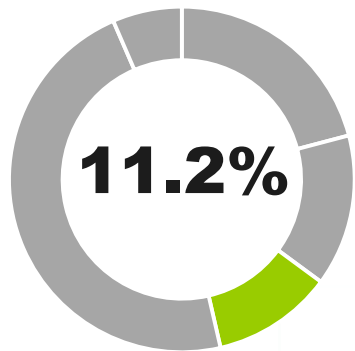


カードユニット

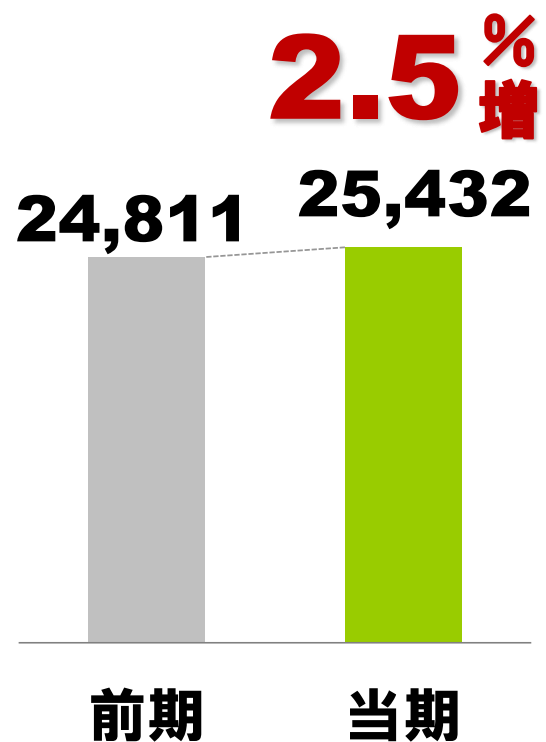
市場全体としては
前期並み

国内 遊技市場

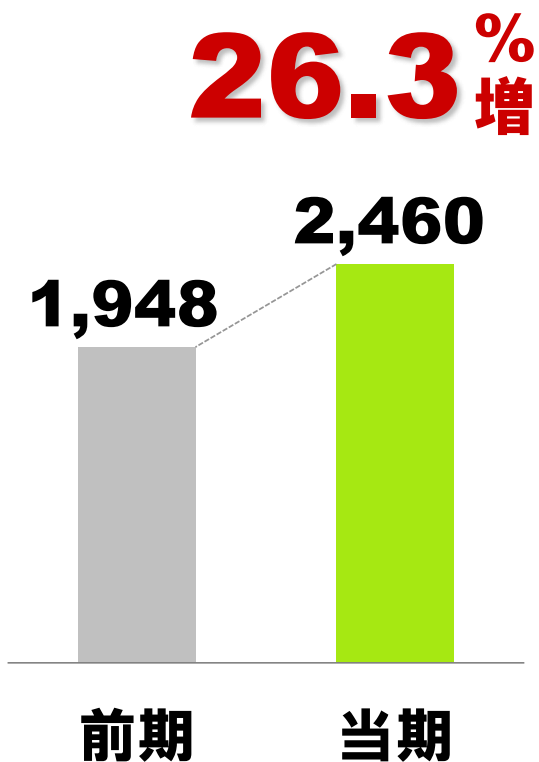
22頁

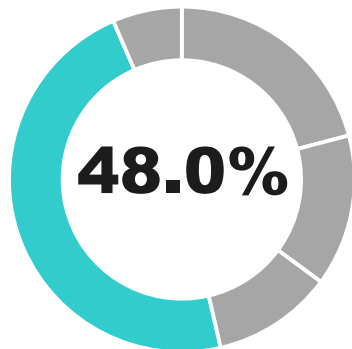


売上高

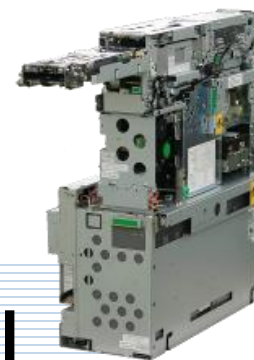


営業利益 (百万円)





ATM用「紙幣入金ユニット」



ATM用紙幣入金ユニット
UDシリーズ

低調

主要製品「紙幣入出金機」

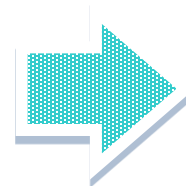
米国やアジアで好調



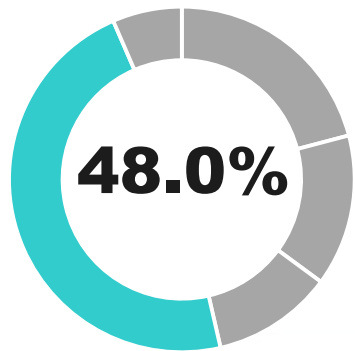
Vertera™ 6G



<RBG-100/200>



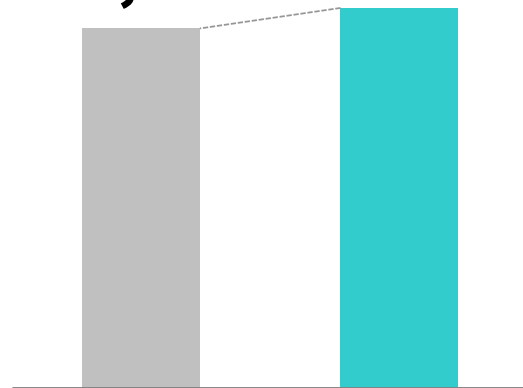
円安効果もあり、
市場全体としては堅調



売上高

5.7% 増

103,002 108,859



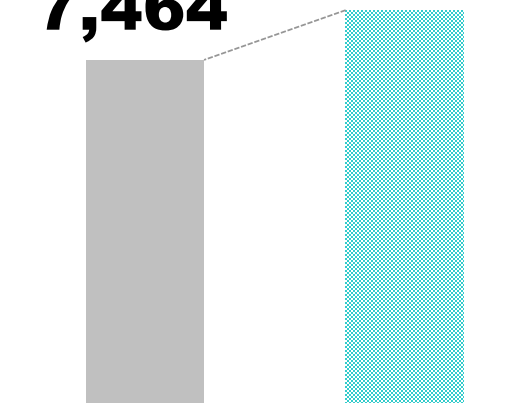
前期

当期

営業利益 (百万円)

14.5% 増

7,464 8,542

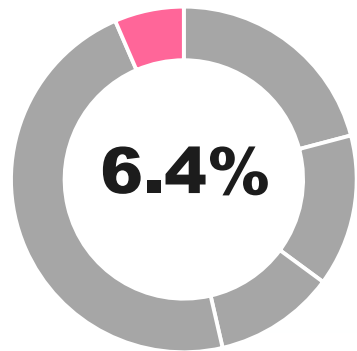


前期

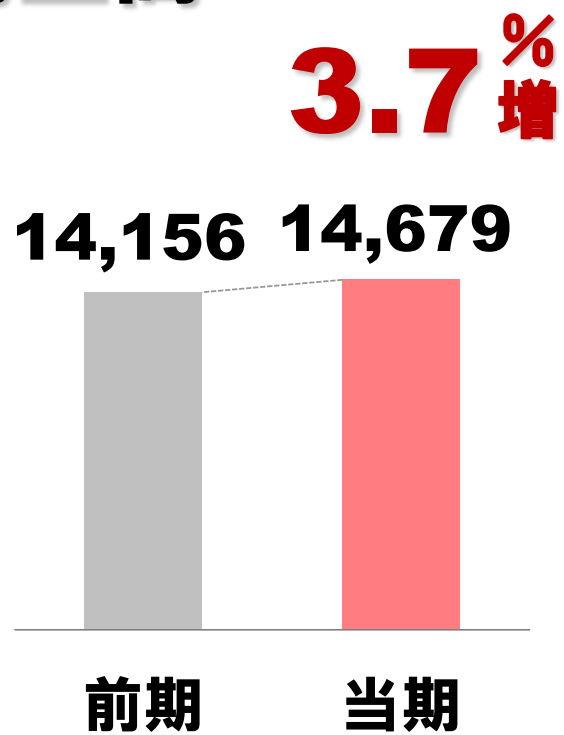
当期

その他

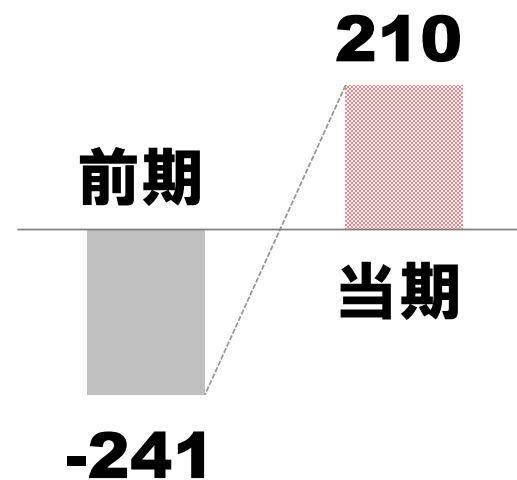
23頁



売上高



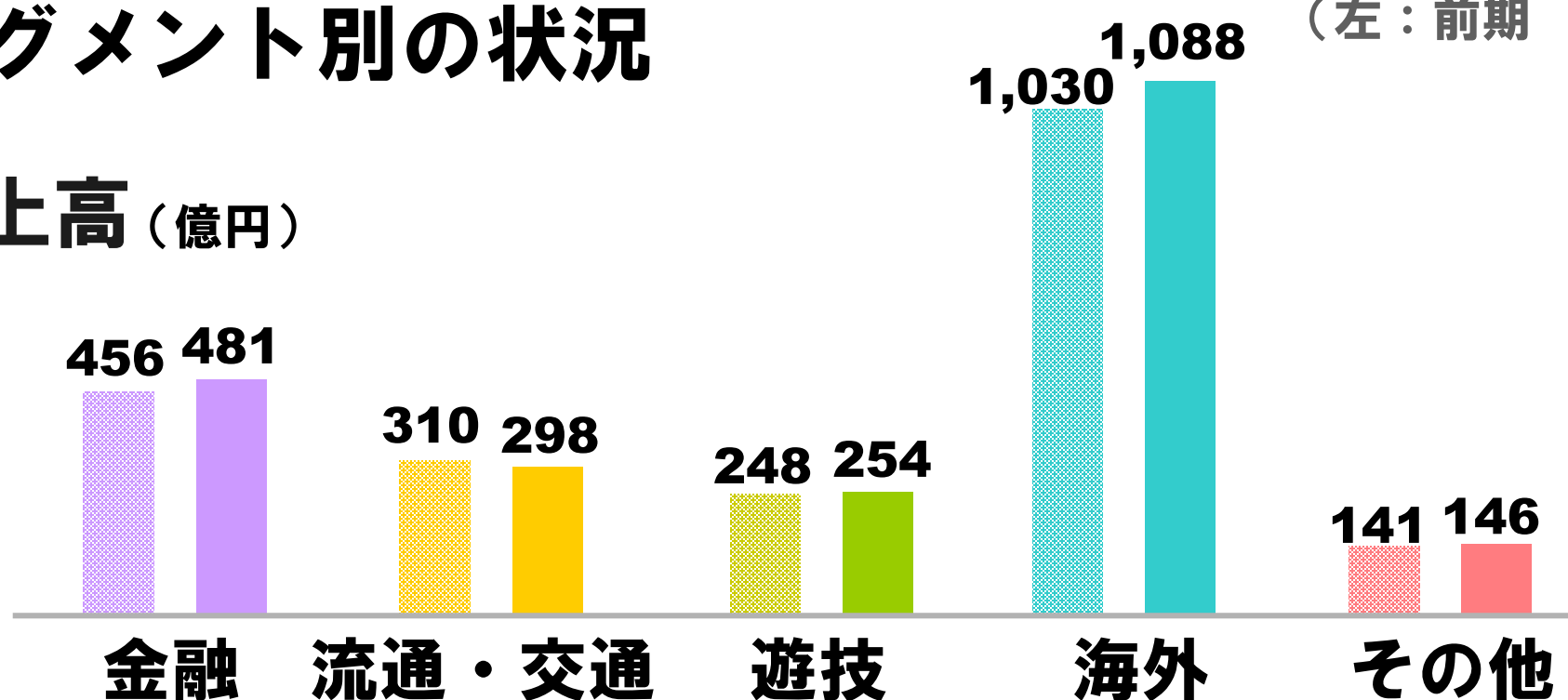
営業利益 (百万円)



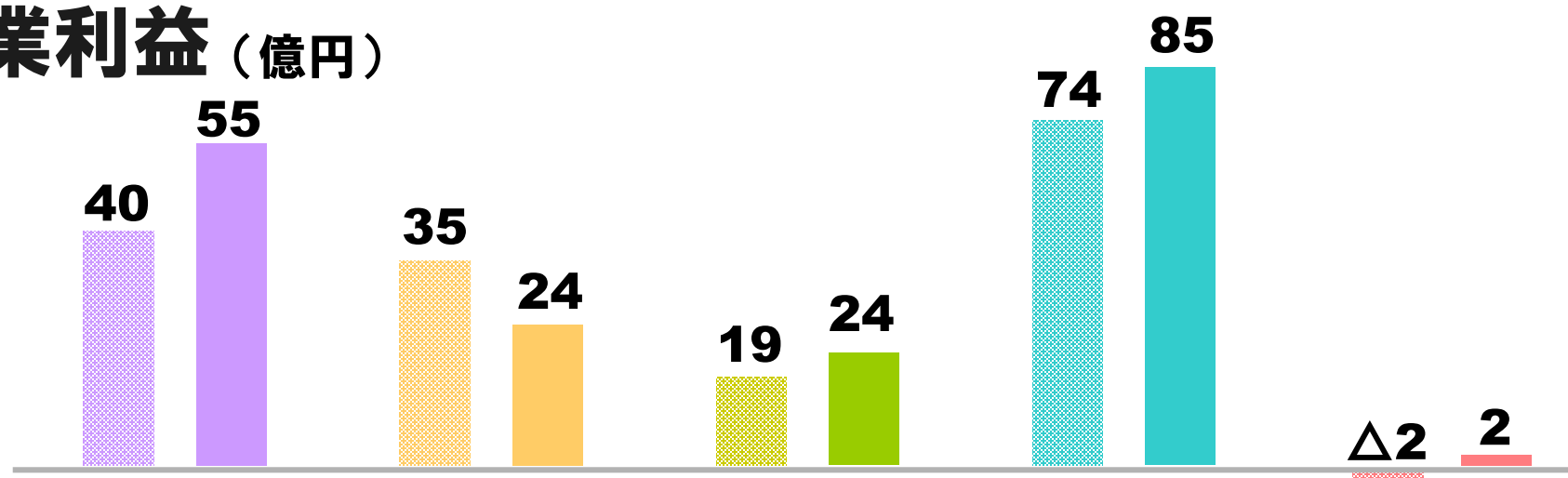
セグメント別の状況

(左：前期 右：当期)

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



1 企業集団の現況に関する事項

(2) 設備投資等の状況

完成した主要設備

- 新製品生産のための金型
- 生産能力向上のための
当社の設備更新、子会社の工場拡張 等

継続中の主要設備

- 生産能力向上のための当社の工場の建替
- 業務システムの構築 等

総額 86億77百万円

1 企業集団の現況に関する事項

(3) 資金調達の状況

重要事項はありません。

1 企業集団の現況に関する事項

(6) ①重要な子会社の状況

● 管理・統括 ● 製造子会社 ● 販売子会社



1 企業集団の現況に関する事項

(6) ②重要な企業再編等の状況

重要事項はありません。

- 1 企業集団の現況に関する事項**
- 2 会社の株式に関する事項**
- 3 会社役員に関する事項**
- 4 会計監査人の状況**



「招集ご通知」27～37頁

会社の体制及び方針



当社ウェブサイトに掲載

（法令・当社定款第17条に基づくインターネット開示）

1 企業集団の現況に関する事項

(4) 対処すべき課題

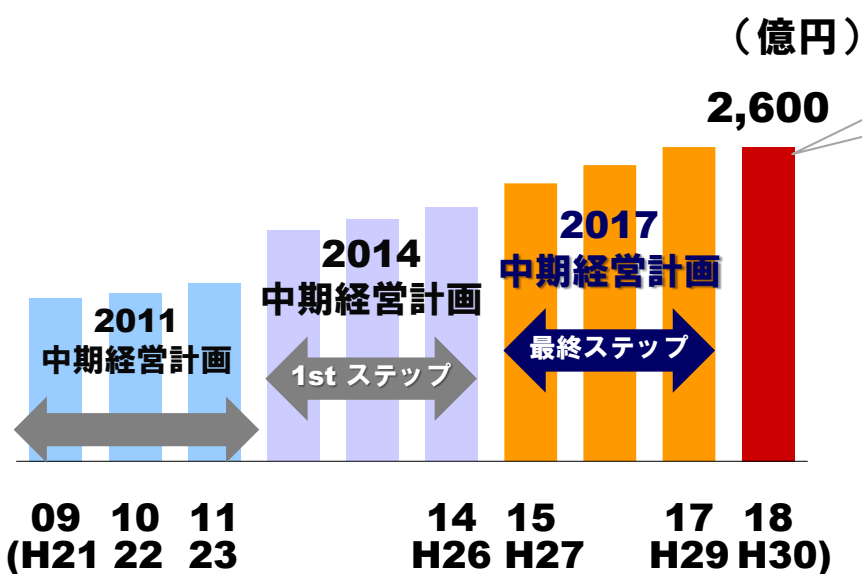


「招集ご通知」

25～26頁

長期ビジョン 及び 中期経営計画

GLORYを 世界のトップブランドに！



長期ビジョン2018

長期基本方針

「モノづくり」の技術で
新たな価値を創造し、夢へ挑戦する

CSR活動を通じて、
社会とともに 継続的な企業成長を図る

2017中期経営計画 (平成27年度～29年度)



業績目標

- 売上高： **2,600** 億円
- 営業利益： **280** 億円
- 海外売上高比率： **50** %

経営指標

- ROE： **8** %

基本方針

長期ビジョン達成に向けた
「顧客起点のモノづくり」による事業成長と収益性向上

基本戦略

事業戦略

機能戦略

企業戦略

基本戦略

事業戦略

**事業規模・領域の拡大による
収益性向上**

**国内事業
戦略**

**海外事業
戦略**

国内事業戦略

基本
方針

- 現場営業力、市場対応力の強化による売上拡大
- 新たなビジネスモデル、次期基幹製品の創出

事業戦略 > 国内事業戦略

オープン出納システム
(新製品)



窓口用
紙幣・硬貨入出金機

1 「オープン出納システム」 を始めとする主要製品

2 非現金処理機の 「重要物管理機」等

重要物管理機



紙幣両替機

国内

金融
市場

25～
26頁



事業戦略 > 国内事業戦略

新型「オープン出納システム」 *WAVE Pro* 誕生

業界初の
新機能！



操作性
UP!

事業戦略 > 国内事業戦略

1 主要製品「レジつり銭機」

- 飲食・専門店等への導入促進
- 大口需要の獲得



レジつり銭機

2 店舗運営の効率化・厳正化に 貢献する製品の販売拡大

- ハイブリッド入金機
「紙幣硬貨商品券入金機」等



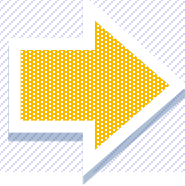
紙幣硬貨商品券
入金機

事業戦略 > 国内事業戦略

3

他社との提携による新たな取組み

- 楽天市場 での
購入品受取用宅配ロッカー「楽天BOX」の
試験運用
- ライフの店舗にて
商品受取用ロッカーの試験運用



市場を拡大



事業戦略 > 国内事業戦略

- 市場競争の激化
- 遊技人口の減少



厳しい環境ではあるが、
集客力向上やコスト削減への
ニーズは依然高い

事業戦略 > 国内事業戦略



- 1** ソリューション提案力の強化
- 2** 「ホールトータルシステム」等
ホール経営の効率化に貢献する
製品の積極提案
- 3** お客様のニーズに合った
新製品の開発

国内

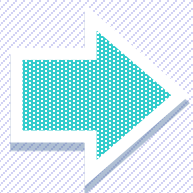


事業戦略 > 国内事業戦略

新事業

 25～
26頁

1 生体認証技術の事業領域の拡大



“顔認証技術”の実用化が加速

2 電子決済サービス事業の拡大

国内

新事業

25～
26頁



事業戦略 > 国内事業戦略



変なホテル

変わり続けることを約束するホテル

Henn na Hotel
A commitment for evolution

最先端の技術を結集した同ホテルの
“入室システム”として採用
(7月開業予定)



顔認証
端末

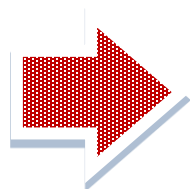




海外事業戦略

海外事業戦略

- H24年7月、英国タラリス社買収。
その後、世界各国の子会社の
再編・統合を実施。

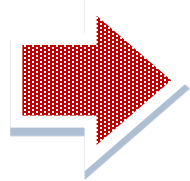


買収シナジーの最大化

事業戦略 > 海外事業戦略

基本 方針

- 1 地域別戦略の実行**
- 2 直販・直メンテナンス網の拡充による収益性の向上**
- 3 新分野・新領域での事業拡大**



**事業環境の変化に対応できる
強固な事業基盤を確立**

事業戦略 > 海外事業戦略

欧州

米国



■ 窓口用「紙幣入出金機」 販売拡大



■ 流通市場への 事業展開の本格化

事業戦略 > 海外事業戦略

25～
26頁



アジア

- 1 直販・直メンテナンス体制の強化**
- 2 高まる厳正化ニーズに対応する製品の提供**

事業戦略 > 海外事業戦略

25～
26頁

アジア

紙幣硬貨両替機 <ENC-100>

紙幣⇒硬貨/硬貨⇒紙幣
の双方向の両替が可能



小型紙幣整理帯封機 <UHS-10>

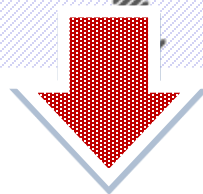
紙幣の正損選別、記番号の読取り、
帯封までの処理が1台で可能



事業戦略 > 海外事業戦略

25～
26頁

- 地域別戦略を着実に実行
- 買収により獲得した広範な販売網、顧客基盤を十分に活用



海外売上高の一層の拡大

基本戦略

 25～
26頁

機能戦略

**市場ニーズに応える製品・
サービスのタイムリーな提供**

**製品開発
戦略**

**生産・調達
戦略**

**品質保証
戦略**

製品開発戦略



- 1 コア技術の開発力 強化**
- 2 海外市場向け製品の
開発体制 強化**

機能戦略



生産・調達戦略

- 1 グローバル生産体制の確立**
- 2 グローバル調達の推進**



コスト競争力の強化

品質保証戦略

1

**海外における
品質保証体制の充実**

基本戦略

 25～
26頁

企業戦略

グループ経営基盤の強化

グループ・ガバナ
ンス戦略

人事戦略

資本・財務戦略

情報システム戦略

グループ・ガバナンス戦略

- 1 企業理念に基づく経営の実践**
- 2 グローバルレベルでの
経営力の強化**

人事戦略

1 グローバルな事業展開を
支える人材の育成・活用

2 ダイバーシティの推進



人的資源の強化

資本・財務戦略

- 1 安定的な利益還元の
継続実施**
- 2 資本効率の向上**

情報システム戦略

- 1 安定した事業活動を支える
情報基盤の構築**
- 2 情報セキュリティ体制の強化**

次期(平成28年3月期)の連結業績予想

売上高

2,300億円 + 1.3%

営業利益

200億円 + 4.3%

経常利益

200億円 -11.5%

親会社株主に帰属する
当期純利益

115億円 -12.1%

目の不自由な方向けのポータブル
紙幣読取機

CSR活動の推進



生物多様性保全活動（日本）



事業活動を通じた
社会的責任



清掃活動と植樹を実施（フィリピン）



チャリティイベントで
硬貨計数機を貸出し（イギリス）



We Secure the Future

思いをかなえる 技術で見つめる 確かな未来